

愛媛県福祉サービス協会
会長 鳥生 明
〒790-8553 松山市持田町三丁目8-15
愛媛県総合社会福祉会館
愛媛県介護実習・普及センター／福祉用具・住宅改造展示場内
TEL 089-921-8348
FAX 089-921-8397
メール ehs-fukusi@lemon.plala.or.jp

R7年度 研修会のご案内です

最新 3D プリンターを使えるようになる講習会です

桜花爛漫の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

特別企画の講習会のご案内ができるようになりました。

今回は、「最新 3D プリンターを使った自助具作成ワークショップ」です

趣旨にもありますように、日常生活動作や家事動作を、可能な限り自分で行えるようにする「自分でできる」ことは喜びであり、日々の生活の中で、気持ちを前向きにしてくれるだけでなく、介護する方の負担軽減にもつながります。近年、福祉・介護分野での DX 推進が進み、全国各地で 3D プリンター技術を活用した事例も多く報告されています。

本講習会では、3D プリンターを使った自助具作成技術や、一人ひとりに寄り添う自助具づくりを通して利用者の満足度を高め、より質の高いケアを提供する方法を学ぶ講習会を開催します。

初級コース(3時間・最大15名)

テーマ 3D プリンターをすぐに使えるようになること

できること 3D プリンターの使い方を一から学び、簡単な自助具を
3D プリンターで出力できるようになります。

どれくらい簡単か パソコンやタブレットが使える人なら誰でもできます。

特別な知識がなくても、基本操作を覚えるだけですぐに作り始められます。

具体的な内容

- 3D プリンターの仕組みと基本的な操作方法
- ダウンロードしたファイルの出力方法
- 初心者向けのお手軽モデリング(シンプルな形状をデザイン)
- 出力時の注意点や材料の選び方

実習&演習

- 実際に 3D プリンターで出力して試作を体験
- 簡単な道具(例: ストローホルダーなど)のモデリング

期待される成果

- 3D プリンターの基本操作を習得し、自分で試作を行えるようになる
- 簡単なモデリングから出力までの流れを理解する

令和7年度 第1回
福祉用具・住宅改修テーマ別講習会 開催要項

「最新 3D プリンターを使った自助具作成ワークショップ」

1 趣 旨

自助具を使う大きな目的は、日常生活動作や家事動作を、可能な限り自分で行えるようにすることです。「自分でできる」ことは喜びであり、日々の生活の中で、気持ちを前向きにしてくれるだけでなく、介護する方の負担軽減にもつながります。近年、福祉・介護分野での DX 推進が進み、全国各地で 3D プリンター技術を活用した事例も多く報告されています。

本講習会では、3D プリンターを使った自助具作成技術や、一人ひとりに寄り添う自助具づくりを通して利用者の満足度を高め、より質の高いケアを提供する方法を学ぶ講習会を開催します。

2 主 催

愛媛県社会福祉協議会(愛媛県介護実習・普及センター)

3 運 営

愛媛県福祉サービス協会

4 期 日

令和7年5月15日(木)

5 会 場

愛媛県総合社会福祉会館 1階「福祉用具展示場」

6 内 容

福祉用具展示場内の食事関連自助具の紹介・体験

3D プリンターの仕組みと基本的操作方法の習得、デジタル自助具制作体験

初心者向けお手軽モデリング(シンプルな形状をデザイン)

7 講 師

特定非営利活動法人 AIP 鈴谷瑞樹氏

3D プリンターやレーザーカッターを活用したデジタルものづくりを支援、全国各地でワークショップやセミナーを開催している。福岡市科学館で講師としても活動中。

8 プログラム

9:30~10:00 受 付

10:00~10:30 自助具の役割と自立支援

10:30~12:00 福祉用具展示場の食事用自助具の紹介と体験

12:00~13:00 昼 食 ・ 休 憩

13:00~15:30 一人ひとりに寄り添う道具自助具作成づくりワークショップ

デジタル自助具制作指導者 初心者育成コース

15:30~16:00 質疑応答・座談会

9 対 象

医療・介護・福祉の現場で働く方

利用者に寄り添ったケアを目指し、自助具の活用や制作に興味がある方

10 参 加 費

3,000円(ワークショップ材料費用含む)

11 申 込 方 法

募集定員20名(定員になり次第、受付終了します。)

令和7年5月8日(木)までに、本会ホームページの「研修・講座情報」

<https://ehime-shakyo.or.jp/category/training/> [研修・講座情報]
からお申し込みください。

参加申込み受付後、受講書をお送りします。

申し込みは、4月10よりの予定です

下記協会へも メールにて 参加氏名・住所など 記載申込可能です



12 問 い 合 せ 先

愛媛県福祉サービス協会 事務局(近藤・鳥生)

TEL 089-921-8348 FAX 089-921-8397

Eメール ehs-fukusi@lemon.plala.or.jp

あたらしく オープンした福祉用具展示場「ユニコム」にて 展示場内の講習会を開催します

私も 一緒に 3D プリンター使えるようになりたく
講師をお願いし開催となりました。

講師 鈴谷瑞樹

3D プリンターやレーザーカッターを活用し、デジタルものづくりを全国各地で支援。ワークショップやセミナーを積極的に開催。福岡市科学館で講師としても活動中。

現在、特定非営利活動法人 AIP にて AIPCafe&舞鶴岡工室担当。

<https://npo-aip.or.jp/1b4a900e6f148051ba5dc6bf012fa259>

すでに、全国でも

紹介 1. 一般社団法人 ICT リハビリテーション研究会の紹介

<https://www.ictrehab.com/>

3D プリント自助具デザインコンテスト 2024 が TBS news23 にて紹介されました
2024 年 10 月 26 日に行われた「3D プリント自助具デザインコンテスト 2024」に TBS
のカメラが入り、3D プリンターで自助具を作成する活動が当事者による製作という視点で
紹介されました。

YouTube で配信されていますので、ぜひご覧になってください。

<https://www.ictrehab.com/news/764/>

令和 6 年度の「S T I f o r S D G s」アワードの受賞 科学技術振興機構理事長賞

団体名 一般社団法人 ICT リハビリテーション研究会、ファブラボ品川

3D プリント自助具デザインコンテスト 2024 関連情報

<https://www.ictrehab.com/misc/688/>

第 19 回鳥取県作業療法学会 スピンオフ企画として 3D プリント・ワークショップを開催しました
(2023.12.10)

<https://www.ictrehab.com/news/627/>

紹介 2 「ファブラボ品川」

昨今は 3D プリンターの普及によって、個人が作りたいものを自由にモデリングし、すぐに形にできるようになってきました。そして最新のものづくりは趣味の領域にとどまらず、医療福祉分野でも運用され始めています。たとえば、東京・中延のファブスペース「ファブラボ品川」。こちらでは、3D プリンターを使った作業療法の実践的な取り組みが行われています。

ファブラボ品川では、医療福祉に関する勉強会や、実際に 3D プリンターでモノを作るワークショップを定期的で開催しています。「セラピスト向け 3D 自助具製作ワークショップ」自助具とは、障がいを持つ人が日常で行うのが困難な動作を、自分自身で容易に行えるよう工夫を凝らした補助具のこと。リストアップした自助具のサンプルから作りたいものを選択し、ソリッドモデリングツール「TINKERCAD」で制作を進めていきましょう。

写真は「プルトップオープナー」と「箸の自助具」を仕上げることにしました。

こうした生活に寄りそう道具が、こんなに簡単できます
に作れてしまうとは……。

<https://jp.meviy.misumi-ec.com/info/ja/blog/6886/>

紹介 3 3D プリンタで自助具をつくる共創プラットフォーム

「COCRE HUB | コクリハブ」をご紹介します

COCRE HUB | コクリハブは 2023 年秋、3D プリンタで自助具をつくる方々の共創プラットフォームとして一般社団法人 ICT リハビリテーション研究会を中心にローンチされました。同法人はかねてからファブラボ品川と協調してケアやリハビリテーションの分野でのデジタルファブリケーション技術活用の普及を目指しており、令和 6 年度の STI for SDGs 科学技術振興機構理事長賞は連名で受賞しています。

現在ファブラボ品川のプラットフォームで公開している自助具 3D モデルの数々も順次 COCRE HUB | コクリハブへの移行を進めています。

3D プリント自助具デザインコンテスト 2024 も 開催されています

<https://www.fablab-shinagawa.org/news/st5490000000zyd.html>

3D プリンターはオススメの機種を以下のブログ記事にまとめています。

参考にしてください。 講師 **鈴谷 瑞樹 氏の推薦紹介**です

<https://npo-aip.or.jp/137a900e6f148056ae6ec07b613c9f85>

自助具をつくれる方は、Bambul ab 製で、タッチパネルがついている機種を選ばれることが多いようです。 まずは一番安い A1 mini がオススメかと思います。

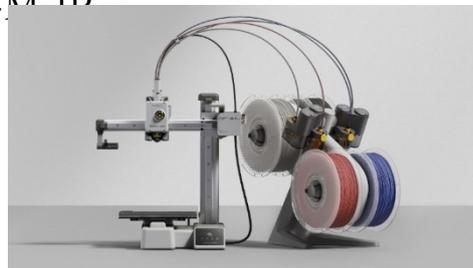
Bambu Lab A1 mini 3D プリンター 商品番号: PF002-M ID

¥31,680 円 税込価格～紹介されています

特徴

- 全自動キャリブレーション
- AMS lite 併用で 4 色までマルチカラー印刷が可能
- 静音造形 (サイレントモードで ≤48 dB)
- 全金属レールシステム
- 自動流量補正キャリブレーション

[Bambu Lab A1 mini 3D プリンター | Bambu Lab ストア](#)



今回の講習会を機会に 愛媛県で そして全国へ つながる

3D プリンタで自助具をつくる共創プラットフォームができ、出来上がった製品を共有しあえる、「つながる・・・自助具 3D モデル」の輪になればと願っています

新しい展示場にて 皆さんが作った 3D プリンター自助具などを 紹介していく事も考えています
愛媛県の情報交換の場所になれば幸いです

ぜひこの機会に 一緒に 新しい福祉用具を考えて見てください

愛媛県福祉サービス協会 会長 鳥生 明